

コード No. 16162

**Anti-Human  
Brain Natriuretic Peptide (BNP) Rabbit IgG**

容量 : 100 µg

はじめに : 脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)は環状構造を有する32個のアミノ酸残基から構成され、心房性ナトリウム利尿ペプチド(ANP)に引き続き第二の利尿ペプチドとして豚の脳から単離同定されました。主として心室から分泌され、血管拡張作用、利尿作用をもち体液量や血圧の調整に重要な役割を果たしていることが報告されています。また、健常人における血漿中BNP濃度は極めて低いのに対し慢性及び急性心不全患者では重症度に応じて顕著に増加していることが報告され、BNPの測定が心不全の病態の把握に重要な意義を持つとされています。

免疫抗原 : Human Brain Natriuretic Peptide (BNP) の部分合成ペプチド

精製方法 : Protein A による特異精製

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 4~20 µg/mL (ブアン固定、パラフィン切片で前処理不要)  
方法

特異性 : ヒト脳組織で確認